

授業評価：私の場合、その2 (教養講義2：情報と社会)

社会科学研究室 伊藤義之

7月号に続いて授業評価アンケートの発表です。今回は私が後期分を担当している教養講義2（テーマ「情報と社会」）です。

【授業の形式】

この科目は一般講義室で行いますが、毎回ノートパソコンを持ち込んでビデオモニターに接続し、実際に私が操作する画面を見せながら講義を行う形式でした。内容はワープロを使った論文の書き方や、障害者とパソコン、インターネットを使って発信能力を養う、など社会とコンピュータの関わり合いを幅広く扱いました。テキストは拙著『パソコンがない(^_^;)人のためのパソコン入門（嵯峨野書院）』を使用しました。

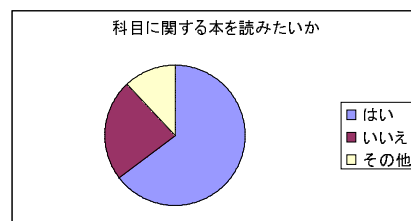
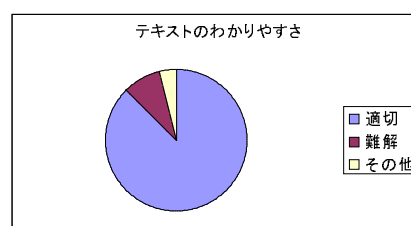
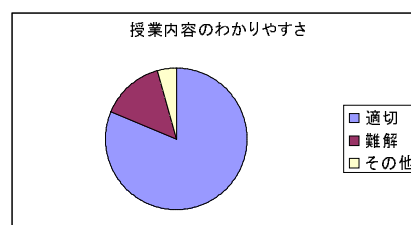
【アンケートの形式】

7月号で発表した「文化人類学」と同様、最後の授業時に匿名で回答してもらいました。全体の回答数は159名でした。アンケート結果の、選択肢のあとのカッコ内の数字は実数です。

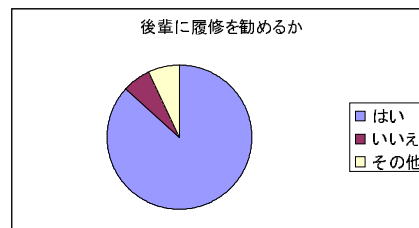
【アンケート結果】

(1) 授業内容について

- 内容の分かりやすさはどうでしたか。
適切（129）、難解（23）、その他（7）
- 使用したテキストの分かりやすさはどうでしたか。
適切（139）、難解（14）、その他（6）
- 今後もこの科目に関する本を読みたいですか。
はい（103）、いいえ（37）、その他（19）
- 内容の上から後輩にこの科目の履修を勧めますか。
はい（138）、いいえ（10）、その他（11）



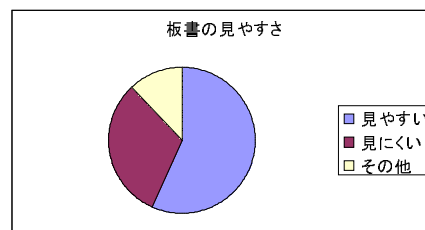
(感想)「この科目に関する本を読みたいか」との質問に対して、約3分の2の人が「はい」と答えたのは、本嫌いの今時の学生にしてはかなりの数です。やはりコンピュータの必要性を痛感しているからこそ出てきた数字でしょうか。内容やテキストの「わかりやすさ」については、ほとんどの学生がパソコンといえどもそれほど難しいものではない、ということを実感してくれたようなので満足しています。



(II) 授業の進め方について

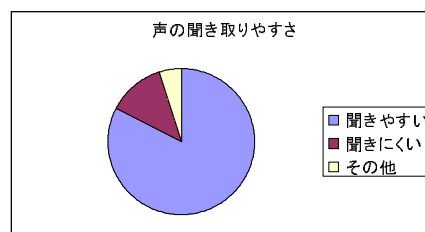
■板書の見やすさはどうでしたか。

見やすい (90)、見にくい (50)、その他 (19)



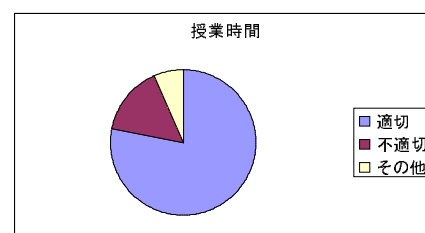
■声の聞き取りやすさはどうでしたか。

聞きやすい (131)、聞きにくい (20)、その他 (8)



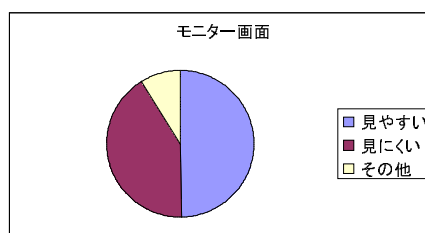
■授業時間はどうでしたか。

適切 (124)、不適切 (25)、その他 (10)



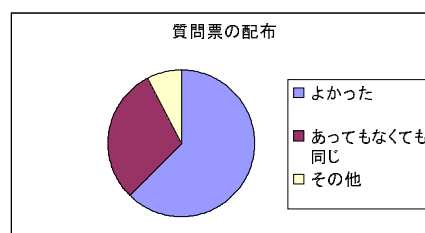
■モニター画面の見やすさはどうでしたか。

見やすい (79)、見にくい (66)、その他 (14)



■講義のときに質問票を配ったことについてどう思いますか。

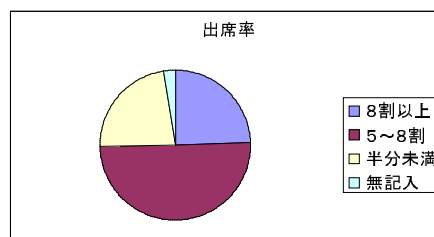
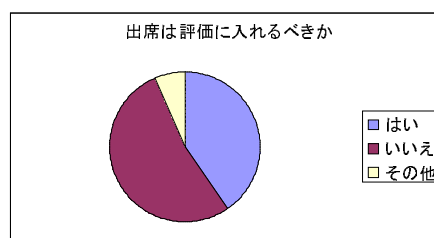
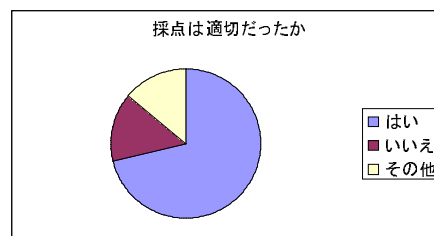
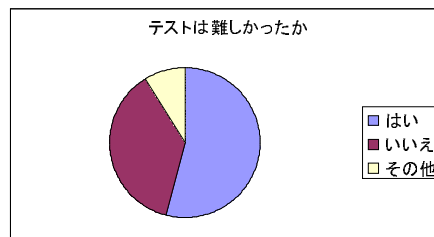
よかった (99)、あってもなくても同じ (48)、その他 (12)



(感想) 声の聞き取りやすさや授業時間の長さともかく、黒板の字やモニターは学生に見えにくかったようです。実は今年はずっと広い教室に移りましたので、見えにくさはさらに拡大してしまっています。私としてはもっと狭い教室でやりたいのですが、学生数が増加しているためにやむを得ません。学生の皆さんもできるだけ前の席に来るようにしてくださいとしかいえないのが申し訳ありません。今年はこの補うためというわけではないのですが、この科目(教養講義2)のホームページを作りました(http://member.nifty.ne.jp/yossan_ito)。と言っても「パソコンがない」人のための科目ですから、アクセス数はたいしてないのですが・・・(^_^)。

(Ⅲ) 評価の仕方について

- テストの問題は難しかったですか。
はい (86)、いいえ (59)、その他 (14)
- テストの評価 (採点) の仕方は適切ですか。
はい (113)、いいえ (24)、その他 (22)
- 出席は評価に入れた方がいいですか。
はい (64)、いいえ (85)、その他 (10)
- 出席はどれくらいしましたか。
8割以上 (39)、5～8割 (80)、半分未満 (36) 無記入 (4)

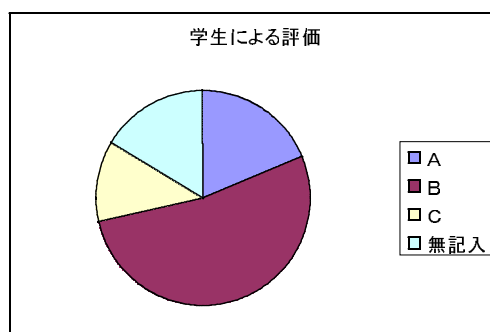


(感想) テストは4者択一式でしたが、それでも「難しかった」とした人が多くいました。テキスト持込可でしかも4択ですから、あまりにもやさしい試験はまじめに出席している学生に申し訳ないと思い、難しくした甲斐がありました。4分の3の学生が半分以上出席し、しかも出席は評価に入れるべきという意見が多くないところを見ると、学生はやる気です。けっして出席点を欲しがっているわけではありません。

(Ⅳ) この授業を評価すれば、次のどの評価になりますか。

A (30)、B (83)、C (20)、F (0)、無記入 (26)

Aを3点、Bを2点、Cを1点として単純平均すると2.1でした。学生が評価してくれている点は「パソコンに興味が出てきた」であり、学生が不満に思った点の代表は「実際にパソコンに触れられればよかったのに」でした。とくに後の方はかなり多くの人の共通した意見でした。来年度(2000年度)からは『コンピュータ入門(仮称)』という科目が開講されることが



決まっていますので、この学生の不満をかなりの部分で解消できていると思っています。ただし、この科目は新一年生しか受講できない科目であり、その点在学生の不満は残ることになります。ところが新科目を私が担当する都合上、教養講義2の教員の手当てがつかず来年度は欠講になりそうです。400人以上の需要のある科目なのにそこが心配なところです。